

## 令和2年度第2回アイランドシティはばたき公園管理・運営等アドバイザー会議の意見と対応 (1)

## ● 令和2年度 第1回アドバイザー会議の意見と対応について (ふりかえり)

議 事	意 見	発 言 者	対 応
(1) 順応的管理計画令和2年11月版について	なし		
(2) より良い湿地管理について			
1) 水中の地形把握について	意見1 参考資料1-① P3	集水と排水の具体的な検討をするにあたり、物質収支や水の出入り等の現状を把握する必要がある	アドバイザー  令和3年度に現状把握調査を実施 → 議事(2)「湿地の水環境 現況把握について」
2) 湿地南側斜面からの水の流入ルートの確保	意見2 参考資料1-① P4	湿地の南側斜面から水を湿地に流入させるルートを考え、水路の設計はなるべく自然に近いグリーンインフラが良い。	アドバイザー  湿地への流入ルート新設の必要性については、議事(2)「湿地の水環境 現況把握について」の結果をもって検討する。グリーンインフラの導入については、安全性やバリアフリーへの対応なども踏まえ、今後検討していく。

令和2年度第2回アイランドシティはばたき公園管理・運営等アドバイザー会議委員意見と対応 (2)

● 順応的管理について

議 事	意 見		発 言 者	対 応
(1) 令和2年度モニタリングの結果報告と考察及び評価				
3) 水質	意見3 参考資料 1-① P5	水質の T-N の数値幅について、グラフと記載に差異がある。	アドバイザー	資料修正 グラフの調査期間が令和2年10月までになっていたため、令和3年1月までに修正する 【参考資料 1-② P3】
4) 底質	意見4 参考資料 1-① P6	硫化水素の現在の評価が、3段階の定性的な評価では底質の変化を把握しにくいので、底質のモニタリング方法について、検討する必要がある。	アドバイザー	外観や臭いからでは底質の善し悪しが判断しにくいいため、今後、分析による硫化物量の把握などモニタリング方法についても検討していく。
5) 鳥類	意見5 参考資料 1-① P7	鳥類の考察には、湿地の維持管理や湿地の利用に携わる情報を記載するとよい。	アドバイザー	資料修正 服部アドバイザーから意見を考察に追記する。 【参考資料 1-② P7】
6) 水生昆虫	意見6 参考資料 1-① P8	水生昆虫類の項目の考察に、「畑や住宅地等からの生活水などの流入もない」は説明が不十分である。	アドバイザー	資料修正 「畑からの農薬や、住宅地等からの生活排水などの流入もない」に修正する。 【参考資料 1-② P10】
	意見7 参考資料 1-① P8	本調査外の任意調査でコガムシがでているので、記録に残した方がよい。	アドバイザー	資料修正 コガムシについて、資料に追記する。 【参考資料 1-② P13】
	意見8 参考資料 1-① P8	外来種には福岡県の外来種リストも加えること。	アドバイザー	資料修正 福岡県の侵略的外来種のリストを追記する。 【参考資料 1-② P16~18】
7) 植物	意見9 参考資料 1-① P9	ツツイトモが繁茂している理由を「アメリカザリガニによる食害がない」は特定しすぎ。	アドバイザー	資料修正 アメリカザリガニによる食害の欠如の記載を削除。 【参考資料 1-② P14】
	意見10 参考資料 1-① P9	ツツイトモ等の水草の減少は水生昆虫類をはじめ、水の中の生態系に影響するので、食害などの動向を、考察に加えた方がよい	アドバイザー	資料修正 カモ類などによる水草の食害に関する動向に注視することを、考察に追記する。 【参考資料 1-② P14】
	意見11 参考資料 1-① P9	侵略的外来種のナルトサワギク等への対処について記載する必要がある	アドバイザー	資料修正 侵略的外来種については、維持管理の中での駆除対応などを追記する 【参考資料 1-② P14】

令和2年度第2回アイランドシティはばたき公園管理・運営等アドバイザー会議委員意見と対応 (3)

● 順応的管理について

議 事	意 見		発 言 者	対 応
(2) 湿地の維持管理作業の報告				
湿地の維持管理作業について	意見 12 参考資料 1-① P10	結果だけでなく、実施状況や課題等を追記する	アドバイザー	資料修正 維持管理の実施結果やその効果、維持管理の課題について追記する。 【参考資料 1-③ P1,2】
植物名の統一	意見 13 参考資料 1-① P10	ヨシとアシ、どちらかで統一した方がよい。 正式にはヨシ。	アドバイザー	資料修正 ヨシに統一 【参考資料 1-③ P1】
今後の取り組みについて	意見 14 参考資料 1-① P10	維持管理で将来的に、ヨシを除去するところと、そうでないところの線引きの見極めを目指す	アドバイザー	将来的に検討する

3

● 湿地における生物移入に関するルールづくりについて

議 事	意 見		発 言 者	対 応
希少種の系統保存の場としての利用	意見 15 参考資料 1-① P11	市民と協働していくなかで、湿地における生物移入に関するルールについて、希少種の系統保存の場として利用できないかとの意見が出てくる可能性がある。市としてきちんとした考えを持ったうえで、市民共働に臨んだ方がよい	アドバイザー	現段階では、はばたき公園において種の系統保存を導入する計画はないが、将来的に湿地の生態系が安定し、順応的管理が次の段階にステップアップする際には、市民意見も踏まえて検討していきたい。

● 今後について

議 事	意 見		発 言 者	対 応
市民見学会へのアドバイザー参加	意見 16 参考資料 1-① P11	市民見学会にアドバイザーが参加する方がよい	アドバイザー	現在も、県内のアドバイザーについては、参加いただいているが、今後はすべてのアドバイザーについてもお声がけさせていただく